

登録コード	E6107900	開講年度	2026				
授業科目	行動障害のある子どもの心理学					担当教員	下山 真衣
英文授業名	Psychology of Children with Behavioral Disorders					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・3時限	対象学生	2年生
講義室	教育N101講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	旧：コミュニケーション障害の心理学
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	障害のある子どもの問題行動に対する支援の理念と倫理や包括的な支援について説明ができる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	障害のある子ども（特に知的障害）の示す行動について、応用行動分析学に基づく機能的アセスメント、基礎理論、支援技法とコミュニケーションの促進の方法について学び、支援計画を立案する。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働、健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	旧：コミュニケーション障害の心理学の授業です。 この授業では知的障害や発達障害のある子どもたちの行動障害や問題行動をとりあげる。特に、行動障害とコミュニケーションの関連に焦点を当て、近年の心理学（応用行動分析学）に基づくアプローチの基礎理論と指導法について講義を行う。その後、チームに分かれて演習を実施する。最終的に行動障害を示す子どもの選択肢を増やし、QOLを高める支援について検討し、その支援プランを作成する。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 行動障害とは 第2回：子どもの問題行動を理解する 第3回：応用行動分析学の基礎 第4回：応用行動分析学入門（1）基礎理論（強化の原理） 第5回：応用行動分析学入門（2）基礎理論（強化の実践） 第6回：応用行動分析学入門（3）基礎理論（弱化的原理） 第7回：応用行動分析学入門（4）基礎理論（先行刺激） 第8回：応用行動分析学入門（5）標的行動を考える 第9回：応用行動分析学入門（6）課題分析 第10回：応用行動分析学入門（7）シェイピング 第11回：応用行動分析学入門（8）プロンプト 第12回：応用行動分析学入門（9）環境調整【遠隔等】 第13回：学校における問題行動に対する事例から学ぶ 第14回：支援プランの作成・授業アンケートの実施 テスト：個別支援プランの作成と提出 ※教育実習による欠席については、各学生の欠席回の授業に相当する課題研究を提示する。						
(6)成績評価の方法	支援プランレポート（50％）、授業ごとの課題提出・発表（50％）を総合し、評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	応用行動分析学に基づく専門的な知識と技能を用いて、支援プランの作成ができ、課題提出と発表ができていれば「水準にある」とみなす。さらに、①知識の正確性、②技法選択の適切性、③支援プランの適切性の習熟度から、①～③のうち1つ習熟していれば「やや上にある」、2つ習熟していれば「かなり上にある」、3つ全て習得していれば「卓越している」とする。						
(8)事前事後学習の内容	専門用語の定義を習得する必要がある科目であり、授業で講義する内容はその基礎的内容である。配布資料については授業外の時間に十分な予習・復習を行い、さらに授業で講義した内容やキーワードについて図書館等を活用して調べ学習を行い、知識の習得と内容の理解を図ること。なお本科目は、授業と授業時間外での自学自習とを合わせて90時間程度の学習を原則とする。						
(9)履修上の注意	・本科目は「コミュニケーション障害の心理学」から名称変更した授業です。「コミュニケーション障害の心理学」受講予定の学生は本科目を受講登録してください。なお、授業コード番号は同一のものと なっています。 ・グループワークが中心となる授業です。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問・相談等がある場合はメールで対応する（アドレスは時間割表に記載）。研究室訪問は常時受け付けるが、なるべく事前に訪問日時を相談すること。						
【教科書】	特になし。必要に応じて資料を配布する。						
【参考文献】	応用行動分析で特別支援教育が変わる 子どもへの指導方略を見つける方程式 2005 山本淳一・池田聡子（編集）図書文化社 ISBN: 978-4810054569						